

所属名	事務事業名	ページ番号
河川砂防課	河川水路の浚渫伐採事業	2
河川砂防課	河川・樋門等維持管理事業	3
河川砂防課	浸水標尺自動計測化整備事業	4
河川砂防課	防災インフラ整備事業	5
河川砂防課	川と親しむ事業	6
河川砂防課	地域環境用水確保事業	7
河川砂防課	準用河川地蔵川改修事業	8
河川砂防課	準用河川城東川整備事業	9
河川砂防課	準用河川新川上流改修事業	10
河川砂防課	土砂災害ハザードマップ作成事業	11
河川砂防課	急傾斜地崩壊防止事業	12
河川砂防課	石井樋公園等維持管理事務	13
河川砂防課	緊急浚渫推進事業	14
河川砂防課	佐賀コロニー跡地開発関連水路整備事業	15
河川砂防課	川上地区調整池整備事業	16

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	河川水路の浚渫伐採事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 維持係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	河川水路の排水機能を充実させるために定期的な浚渫・伐採を行い、アシ、ホテイアオイ、ヒシ、ナガエツルノゲイトウ等の水草除去を行う。				
事業の対象者	河川流域の市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物巡回除去 ・水面維持管理（エリア1～12） ・樹木伐採（市内一円） ・除草（上碓川外） ・浚渫 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	99,216	121,710			
うち佐賀市の負担額	99,216	121,710			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特定外来生物除去面積						m2
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,745	9,000 12,828	9,000	9,000	9,000		

年度	目標	実績
R2	9,000	9,745
R3	9,000	12,828
R4	9,000	
R5	9,000	
R6	9,000	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		0
R3		0
R4		0
R5		0
R6		0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	特定外来生物の除去面積は目標を達成しているが、繁茂の範囲は増加傾向にある。

成果目標達成に向けた対応策等
「川を愛する週間」において、市民の方々に河川清掃を実施していただいているが、どうしても市民の手に負えない水路については、現地確認の上、地元自治会から要望書の提出を求め、優先順位を協議し、公平・適正に河川の浚渫伐採を実施する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	河川・樋門等維持管理事業	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 維持係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	大雨洪水時の河川の増水による危険箇所を把握し、護岸補修や調整池、排水ポンプ等の維持管理を行う。また、主要な樋門樋管については地域の水事情に詳しい地元の方に操作を委託し、大雨注意報・警報発令時に樋門等周辺の内外水位並びに河川の状況を判断して操作を行うことで、浸水軽減を図る。				
事業の対象者	河川流域の市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸補修、根固め、調整池、排水ポンプ、樋門樋管等の維持管理 ・樋門樋管の操作委託 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	126,191	112,119			
うち佐賀市の負担額	126,191	112,119			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
樋門樋管の操作箇所数						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
285	288 288	288	288	288		

成果指標②						単位
樋門操作人の人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
192	197 197	197	197	197		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	樋門樋管の操作箇所数や操作人の人数は目標を達成しているが、激甚化する大雨における樋門操作人の負担が増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
職員によるパトロールで危険箇所、流水阻害箇所の発見に努める。また、樋門操作人の高齢化による負担増加のため、操作方法を引き継ぎ、若い世代のへ交代を進める。

令和4年度 事務事業実績報告シート

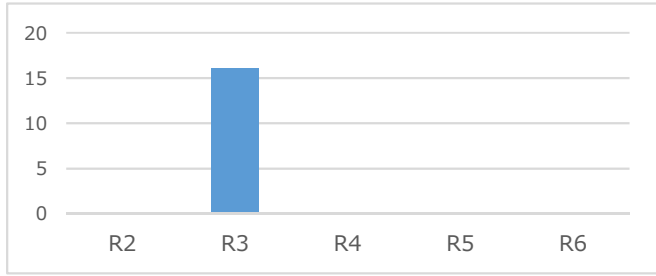
事務事業名	浸水標尺自動計測化整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	河川砂防課 水問題対策室	担当課長名	江口 弘行
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

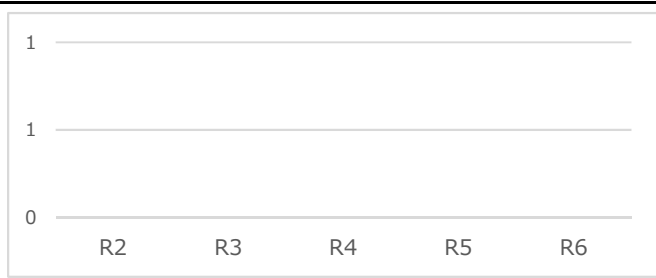
事業概要・目的	浸水常襲地区に設置している浸水標尺の自動計測化を追加し、浸水状況をリアルタイムで広く把握する。				
		【既設】	【今回既設改造】	【今回新規設置】	【合計】
	浸水標尺設置数	: 82基		1基	83基
	うち、自動計測化箇所数	: 13基	15基	1基	29基
事業の対象者	市内平野部を対象とした市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	0	5,162			
うち佐賀市の負担額	0	1,859			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
浸水標尺自動化箇所数（新規設置箇所含む）					基
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
—	16				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

拡充した自動計測化浸水標尺の運用は令和3年6月に開始し、水防活動の効率化や浸水データ分析による排水対策の改善策に活用していく。今後、現在の利用範囲（水防活動、浸水状況把握）を広げて、浸水情報を市民向けに公開することで、市民の避難行動等に役立てる。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	防災インフラ整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	河川砂防課 維持係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（平成30年12月14日閣議決定）と連携しつつ、地方単独事業として実施する防災インフラの整備を推進するため創設された「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、市内における災害の発生予防・拡大防止を図る。 事業期間：R3～R7 事業内容：R3（繰越） 水路整備2か所、ポンプ等整備5か所、樋管等改修8か所及び水路内支障工作物撤去。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	0	53,831			
うち佐賀市の負担額	0	53,831			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
整備箇所数（水路整備、ポンプ等整備、樋管等改修、水路内支障工作物撤去）					箇所	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
-	19					
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

R3年度完了は、ポンプ整備3か所はR4.3月、その外はR4.2月で完了。
 今後、緊急自然災害防止対策事業債を活用しながら、R7年度までの期間で計画的に実施していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	川と親しむ事業	事業期間	昭和 54 ~ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 維持係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	水辺空間の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	毎年、春と秋に「川を愛する週間」を設定し、自治会・事業所・学校等へ河川清掃の参加を呼び掛ける。市の役割分担として、清掃用具の貸出しや河川ゴミの回収を実施し、水辺環境の向上を図る。また、「川を愛する週間」に伴う河川浄化を目的に啓発を行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「川を愛する週間」の清掃用具の貸出し及び河川ごみの収集運搬処分 ・市民で対応が難しい河川の要望対応 ・河川愛護ポスター、標語の優秀者への表彰 ・河川浄化功労者への表彰 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	109,424	119,243			
うち佐賀市の負担額	109,424	119,243			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
「川を愛する週間」における参加人数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
53,817	90,000 79,463	90,000	90,000	90,000	

成果指標②					単位
安全で美しい河川環境の適切な管理					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
73.3	73.9 72.1	74.5	75.1	75.7	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で「川を愛する週間」における参加人数は目標に達成していないが、回復傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
河川清掃参加者の高齢化や若年層の参加減少のため、市内小中学校や事業所等に参加要請を通知している。また、事業所等に直接訪問し、河川清掃への参加を要請したり、各自治会が河川浄化活動を維持するための取り組んでいる事例集を作成し配布することで、河川清掃参加者数の増加及び水辺環境の向上を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

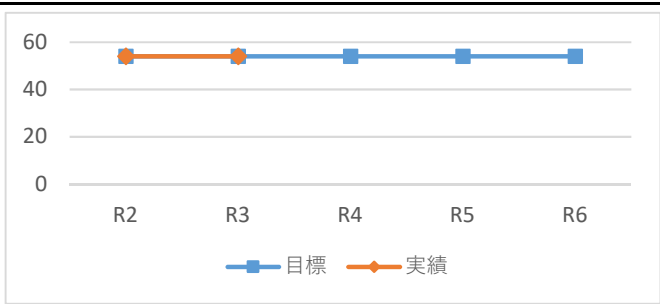
事務事業名	地域環境用水確保事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 水問題対策室	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	水辺空間の保全	

1 事務事業の基本情報

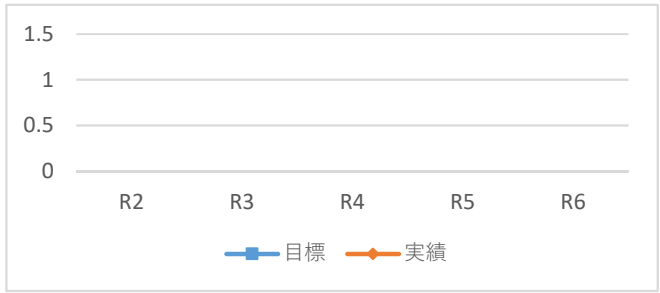
事業概要・目的	佐賀市内に流れる水路の水量を確保することによって、水生生物が十分に生息できる環境を維持する。また、併せて防火用水、修景・景観等の水量を確保し、市民と協力しながら水との共生都市の実現を目指す。				
事業の対象者	市内平野部を対象とした市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・多布施川水域における市街地水路の水量が相対的に減る非灌漑期（10月～3月）に、9地点で水質検査（BOD・COD・DO）を月1回ごとに実施（6回） ・市街地を流れる水路の水質及び水量を監視し、水辺空間の保全を図る。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	487	494			
うち佐賀市の負担額	487	494			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
水質検査・水量調査						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54	54 54	54	54	54		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	定期的な水量の確認及び水質試験により市街地水路の水辺空間保全が図れた。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地水路の水辺空間の保全のため、水質検査及び水量観測の実施による、水路の定期的な監視 ・多布施川沿川にあり、市街地水路の水量を調節している樋門の適正管理

令和4年度 公共事業進捗報告シート

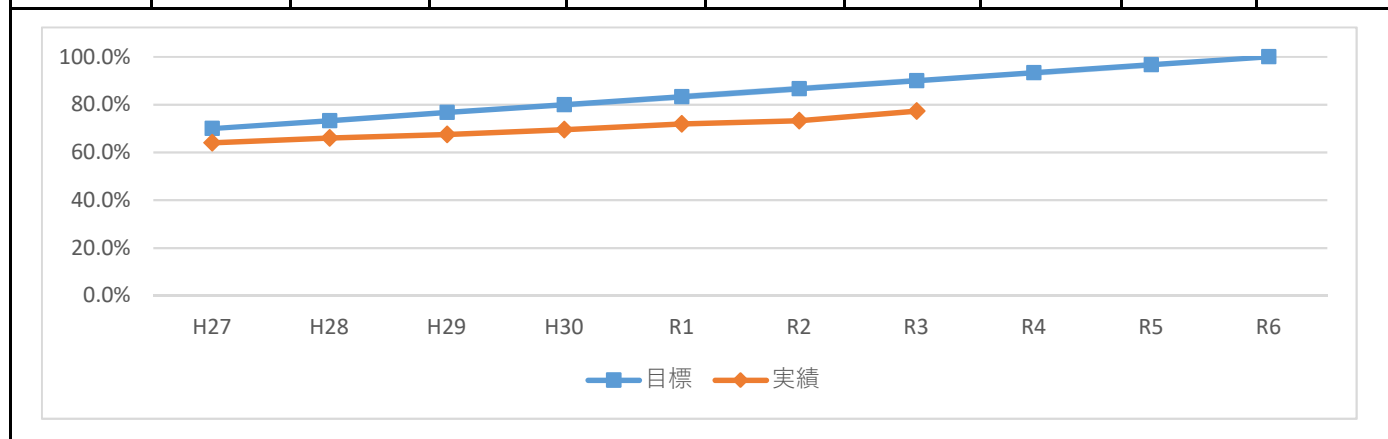
公共事業名	準用河川地蔵川改修事業	事業期間	平成 9 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	河川砂防課 事業係	担当課長名	江口 弘行
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 公共事業の基本情報

整備概要	市街地西部の排水を担う準用河川地蔵川において排水機能強化のため河川改修工事を行う。 ・護岸工 L = 600m、幅W = 8.8m、道路橋 6 基、サイフォン 2 基				
整備の目的	激甚化している大雨により頻発する浸水被害の軽減を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H9～H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
工事請負費	404,370	19,489	29,168	18,560	21,227
測量・監理等委託料	99,577	3,240		1,980	
用地購入費	281,160	755		14,890	894
補償費	178,068			48	46
その他事務費等	26,591				
計	989,766	23,484	29,168	35,478	22,167
うち佐賀市の負担	328,922	15,823	19,612	23,819	14,945
区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
工事請負費	58,890				551,704
測量・監理等委託料					104,797
用地購入費					297,699
補償費					178,162
その他事務費等					26,591
計	58,890				1,158,953
うち佐賀市の負担	39,299				442,419

2 事業の進捗率

目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	H27	H28	H29	H30
70.0%	73.3%	76.7%	80.0%	83.3%	86.7%	90.0%	93.3%	96.7%	100.0%	64.0%	66.0%	67.5%	69.5%



令和4年度 公共事業進捗報告シート

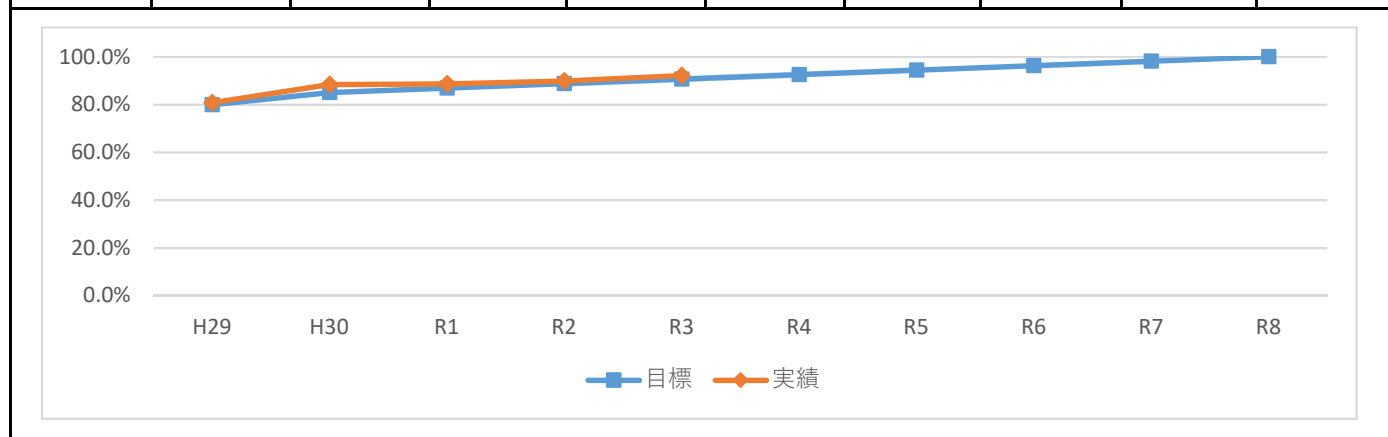
公共事業名	準用河川城東川整備事業	事業期間	平成 18 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	河川砂防課 事業係	担当課長名	江口 弘行
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 公共事業の基本情報

整備概要	市街地東部の排水を担う準用河川城東川において排水機能強化のため河川改修工事を行う。 ・護岸工 L = 2,800m (うち狭窄部及び災害対策箇所)				
整備の目的	激甚化している大雨により頻発する浸水被害の軽減を図る。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	H18~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
工事請負費	761,697		12,265	43,051	
測量・監理等委託料	296,987	2,571	12,220	218	
用地購入費	516,655				
補償費	104,685	681	387		
その他事務費等	112				
計	1,680,136	3,252	24,872	43,269	
うち佐賀市の負担	1,680,136	3,252	24,872	43,269	
区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計
工事請負費					939,025
測量・監理等委託料					338,207
用地購入費					516,655
補償費					105,753
その他事務費等					112
計					1,899,752
うち佐賀市の負担					1,899,752

2 事業の進捗率

目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
80.0%	85.0%	86.9%	88.8%	90.7%	92.5%	94.4%	96.3%	98.2%	100.0%	
80.8%	88.4%	88.6%	89.9%	92.2%						



令和4年度 公共事業進捗報告シート

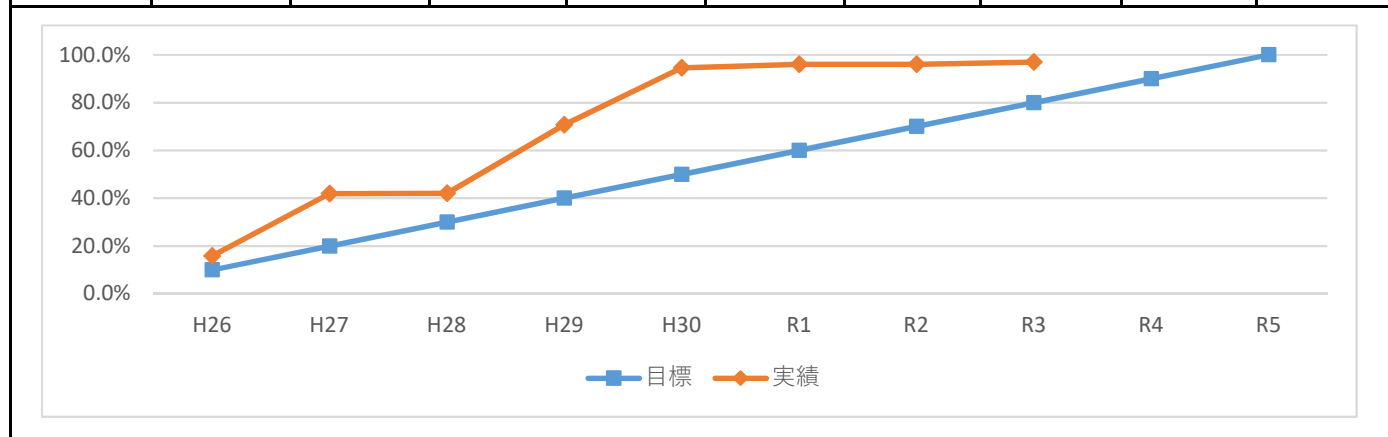
公共事業名	準用河川新川上流改修事業	事業期間	平成 26 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	河川砂防課 事業係	担当課長名	江口 弘行
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 公共事業の基本情報

整備概要	県営土地改良事業鍋島東地区にあわせて、新川上流の排水機能強化のため河川改修工事を行う。 ・護岸工L=800m、函渠工1基				
整備の目的	激甚化している大雨により頻発する浸水被害の軽減を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H26~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
工事請負費	56,026		45,020	40,283	1,508
測量・監理等委託料	12,355	130	1,855		
用地購入費	2,305				1,023
補償費			1,565		48
その他事務費等					
計	70,686	130	48,440	40,283	2,579
うち佐賀市の負担	70,686	130	48,440	40,283	2,579
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
工事請負費		1,247			144,084
測量・監理等委託料					14,340
用地購入費					3,328
補償費					1,613
その他事務費等					
計	0	1,247			163,365
うち佐賀市の負担		1,247			163,365

2 事業の進捗率

目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
H26 10.0%	H27 20.0%	H28 30.0%	H29 40.0%	H30 50.0%	R1 60.0%	R2 70.0%	R3 80.0%	R4 90.0%	R5 100.0%	
15.8%	41.9%	42.0%	70.7%	94.6%	96.1%	96.1%	97.0%			



令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	土砂災害ハザードマップ作成事業	事業期間	平成 26 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	河川砂防課 事業係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	土砂災害防止法の規定に基づき、土砂災害警戒区域等を表示したハザードマップを作成し、区域住民への周知を図る。				
事業の対象者	土砂災害警戒区域等の市民				
根拠法令等	土砂災害防止法第7条第3項				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	787	1,400			
うち佐賀市の負担額	394	700			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
土砂災害ハザードマップ作成地区数					地区	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
7	4					
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>土砂災害警戒区域等のうち、地すべりが指定されたため、令和3年度に作成及び区域住民への配布を行い、完了した。</p>
--

令和4年度 事務事業実績報告シート

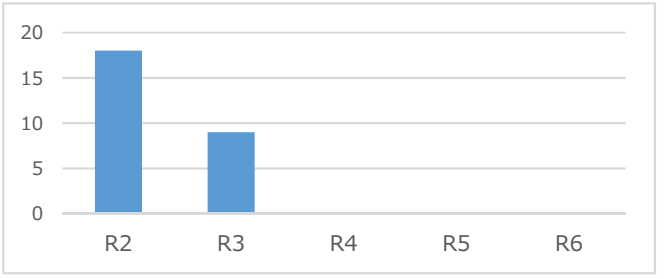
事務事業名	急傾斜地崩壊防止事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 事業係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

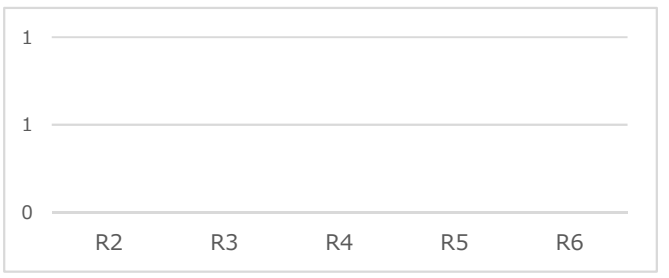
事業概要・目的	降雨や地震などに伴って発生するがけ崩れ災害に対し、急傾斜地崩壊防止施設等を設置することによって急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守る				
事業の対象者	急傾斜地の市民				
根拠法令等	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	88,779	63,761			
うち佐賀市の負担額	33,292	34,930			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
急傾斜地崩壊防止施設の設置					箇所
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
18	9				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

急傾斜地の崩壊による災害から未然に人命を守るため、自然斜面で危険度が高く災害に直結する恐れのある箇所について、市民からの要望及び同意があれば擁壁工及び法面工等を実施する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	石井樋公園等維持管理事務	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	河川砂防課 管理係	担当課長名	江口 弘行
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	22都市のみどりと美しい景観の創出	
	基本事業	公園の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	石井樋地区に整備された「さが水ものがたり館」の運営及び周辺の公園の維持管理を行い、市民に身近な憩いの場や娯楽学習の場を提供する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	さが水ものがたり館 開館日数 309日間				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,284	12,130			
うち佐賀市の負担額	8,399	9,006			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7,757	12,000 9,638	12,000	12,000	12,000		

Year	Target	Actual
R2	12,000	7,757
R3	12,000	9,638
R4	12,000	
R5	12,000	
R6	12,000	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響で来館者が減少したが、回復傾向にある。

成果目標達成に向けた対応策等
さが水ものがたり館企画調整会議構成機関が企画展示を実施する。 市河川砂防課：河川愛護ポスター等展示、市緑化推進課：みどりと花のフォトコンテスト作品展示 等

令和4年度 事務事業実績報告シート

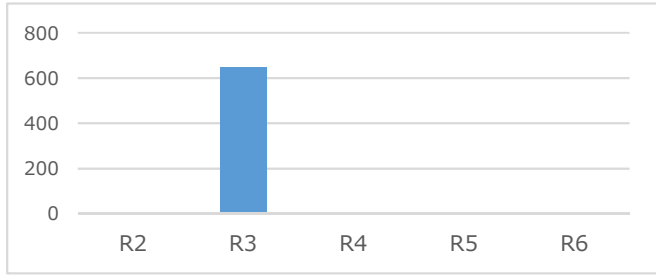
事務事業名	緊急浚渫推進事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	河川砂防課 維持係	担当課長名	江口 弘行
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

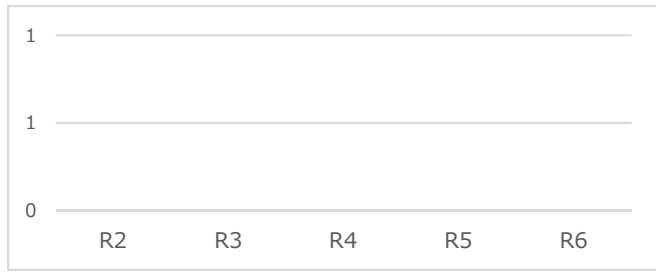
事業概要・目的	大雨時や洪水時に水路などの氾濫及び家屋等の浸水を未然に防ぐことを図るため、河道の支障となる樹木の伐採や堆積土の浚渫を行う。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	0	10,361			
うち佐賀市の負担額	0	10,361			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
堆積土の浚渫土量					m3
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
—	648				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

河道の流下能力を確保するため、堆積土の状況を確認しながら計画を立て、浚渫を行っていく。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

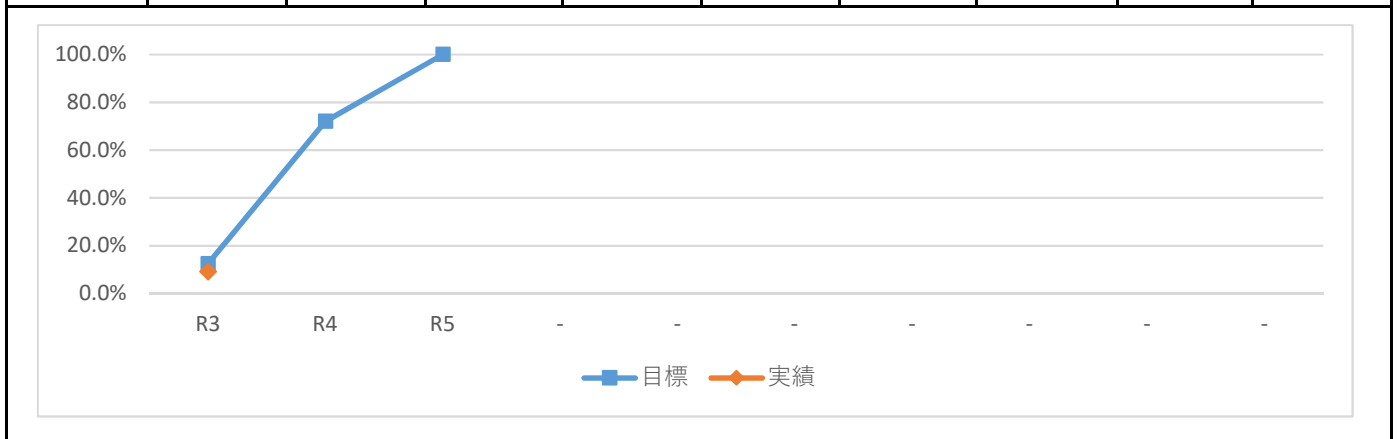
公共事業名	佐賀コロニー跡地開発関連水路整備事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	北部建設事務所 事業係	担当課長名	小池 康雄
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実績できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀コロニー跡地の県営産業団地開発に伴い、周辺水路の整備を行う。 ・水路工L=350m				
整備の目的	激甚化している大雨により頻発する浸水被害の軽減を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	R4年度	R5年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	7,647				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	7,647				
うち佐賀市の負担	429				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					7,647
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					7,647
うち佐賀市の負担					429

2 事業の進捗率

R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	12.5% 9.1%		72.0%		100.0%						



令和4年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	川上地区調整池整備事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	北部建設事務所 事業係	担当課長名	小池 康雄
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実績できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 公共事業の基本情報

整備概要	大和町川上地区の浸水被害を軽減するため、大和中央公園に遊水池の整備を行う。 V=1,100m ³				
整備の目的	激甚化している大雨により頻発する浸水被害の軽減を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	3,600				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	3,600				
うち佐賀市の負担					
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					3,600
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					3,600
うち佐賀市の負担					

2 事業の進捗率

R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	4.0% 0.7%		20.1%		36.0%		68.0%		100.0%				

